

艇跡

2005 年 10 月号

発行:名古屋工業大学漕艇部

編集:神原 あい

今年の大注目された世界ボート選手権に我が名工大ボート部員が出場いたしました。
また創部 50 周年といたしまして総会が行われ、さまざまな方にお越しいただきました。



今月のトピックス

☆ 田島先生追悼式・50 周年総会

☆ なごやレガッタ…男子シングルスカル ・ 男子ダブルスカル

男子舵手付フォア

優勝🏆

☆ 全日本大学選手権…男子シングルスカル(澤津)

準優勝🥈

…男子ダブルスカル(S:下手 B:西雪)6 位入賞☆

☆ 今後の予定

☆田島先生追悼式 ・ 50 周年総会☆

今年、名古屋工業大学ボート部ができて記念すべき 50 周年となりました。

前部長である田島先生の追悼式ならびに 50 周年総会が行われ、遠方からたくさんの方々にお越しいただきました。久しぶりの再会に会話の花がより大きく開いたことと思います。

また、さまざまな当時の思い出話をしていただき懐かしさに耳を傾けられたことと思います。





◎◎総会に来て下さった方々(敬省略)◎◎

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
学生部長		横山伸一	学生課係長		三木順	名大艇友会		木村洋一
S33	A	岩田義郎	S33	D	木村弘之	S34	D	鈴木宏昌
S36	D	佐藤弘	S36	E	神谷昌宏(会長)	S36	E	森健
S37	K	佐藤余四於	S37	E	松野範衛	S39	K	篠田紀夫
S40	E	大西旻	S40	W	浜野昭宜	S42	C	松野忠衛
S42	B	玉井寿雄	S44	F	星田吉明	S48	W	衣斐洋一
S53	M	佐野武雄	S53	A	神谷省次	S53	E	川村信之
S56	F	伊藤雅啓	S56	B	松永巖	S57	Es	三谷克彦
S57	M	永田博美	S57	E	竹下隆晴(部長)	S58	A	中澤敏樹
S58	A	林晃正	S58	A	裏橋信夫	S59	J	酒井泰誠
S60	Y	山出善章	S62	M	都築宏	S62	W	吉田行男
S62	E	岡崎正人	H10	I	石黒新治	H10	Zk	鈴木秀忠
H11	Sc	月東宏之	H13	Sc	伊藤雄郷	H14	M	廣岡正人
H14	Ua	田中弘臣						

◎ 白艇会費・特別会費を下された方々(敬省略)◎

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S42	C	松野忠衛	S48	W	衣斐洋一	S56	B	松永巖
S59	J	酒井泰誠	S62	M	都築宏	S62	E	岡崎正人
H13	Sc	伊藤雄郷						

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

☆なごやレガッタ☆

すがすがしい秋晴れとなり、久々の快晴に中、試合が行われました。今回初レースとなる 1 年生の子達にとってよい 1 日となったことと思います。

日程 : 2005 年 9 月 18 日(日)

場所 : 愛知県名古屋市 中川運河 名古屋港漕艇センター 1000m

出漕クルー : 男子シングルスカル(澤津 貴弘・天野 賢治・小池 亮介)

男子ダブルスカル(S:下手 貴史 B:西雪 健次朗)

男子舵手付フォア A(C:神谷 恭平 S:土岐 良太 3:平 雄二

2:阿葉家 淳 B:石川 敦正)

男子舵手付フォア B(C:中川 秀幸 S:古川 資生 3:和田 悠希

2:新海 雄也 B:荻原 有騎)

＊男子シングルスカル＊

予選 A 組

着順	クルー	1000m
1	名古屋工業大(天野)	3'57"79
2	南山大(梶田)	3'58"15
3	大同工業大(水谷)	4'02"99
4	南山大(小野田)	5'06"49

予選 D 組

着順	クルー	1000m
1	名古屋工業大(澤津)	3'30"62
2	海鷗会関西(吉田)	3'47"23
3	南山大(岩橋)	4'02"57
4	旭丘高(加藤)	4'35"59

予選 E 組

着順	クルー	1000m
1	愛知教育大(辻)	3'49"12
2	名古屋工業大(小池)	3'55"09
3	旭丘高(宮本)	4'30"50
4	南山大(前田)	4'33"07

敗復 G 組

着順	クルー	1000m
1	名古屋工業大(小池)	3'59"44
2	南山大(立松)	4'06"44
3	名古屋大(渡辺)	4'43"68
4	南山大(牧野)	5'22"62

準決勝 G 組

着順	クルー	1000m
1	名古屋工業大(澤津)	3'55"66
2	名古屋工業大(小池)	4'07"24
3	南山大(岩橋)	4'13"31

準決勝 K 組

着順	クルー	1000m
1	愛知教育大(辻)	3'59"67
2	南山大(梶田)	4'08"41
3	名古屋工業大(天野)	4'18"68

決勝 M 組

着順	クルー	1000m
1	名古屋工業大(澤津)	3'45"71
2	海鷗会関西(吉田)	3'55"33
3	愛知教育大(辻)	4'03"28
4	中川運河 RC(鈴木)	4'21"14

スタートからトップになり周りを見ながら、比較的落ち着いて漕ぐことができた。中盤でも二位との差を少し広げたが、終盤にスパートで一気に差を縮められたが、際どい差でなんとか勝つ事ができた。
(天野・予選)



男子ダブルスカル

予選 A 組

着順	クルー	1000m
1	名古屋工業大	3'18"78
2	南山大 B	3'39"46
3	名古屋大	3'42"00

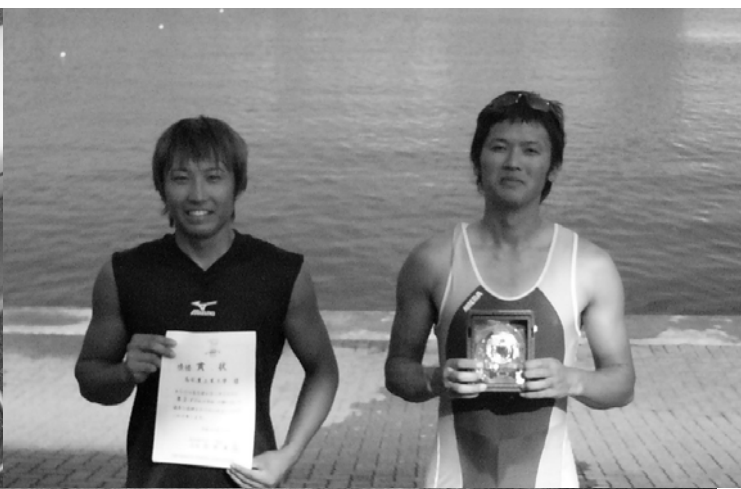
決勝 F 組

着順	クルー	1000m
1	名古屋工業大	3'28"36
2	大同工業大	3'32"94
3	旭丘高	3'37"28
4	南山大 B	3'47"10
5	名古屋大	3'56"08

(決勝)

スタートで水をうまくつかむことができずばたついた漕ぎ出しになった。500m までは大同と差がつかず並んでいたが、その後は徐々に離していきラストスパートを入れる前までには余裕を持って漕げる差になっていた。

今回は前に出られることもあったが、しっかり自分達の漕ぎが出せれば勝てると思っていたので大きく崩れることもなかった。



男子舵手付フォア

予選 A 組

着順	クルー	1000m
1	名古屋工業大 A	3'24"70
2	大同工業大 OB	3'44"15
3	DNAC . RC	3'54"56
4	TRC 名古屋	4'07"86

予選 B 組

着順	クルー	1000m
1	南山大	3'35"43
2	ぱにくるー	3'52"15
3	名古屋工業大 B	3'52"53

敗復 C 組

着順	クルー	1000m
1	DNAC . RC	3'54"27
2	名古屋工業大 B	3'57"46
3	ぱにくるー	3'57"84
4	TRC 名古屋	4'11"30

(決勝)

スタートより、南山大と競っており中盤から少し前に出ることが出来た。どんどん差をあけていきそのままフィニッシュ！

◎クルーの言葉◎

澤津 貴弘 (4 年)

世界選手権・国体を終えて、少しずつ分かってきた艇に対するアプローチの仕方をシングルでも活かそうと思い臨んだレースだったのですが、練習においてもレース本番においてもまだまだ分かってないなとしか思えない漕ぎでした。実際、この試合では優勝した上でタイムを出すことを目標としていたのですが、納得のいくタイムは出ませんでした。

もうインカレも迫ってきているので、少しでも自分の頭の中にある漕ぎを体現できるようにがんばります。

阿葉家 淳 (2 年)

勝って当然のような相手ではあったけれどインカレ前に勝ってはずみをつけてよかった。今回はレースの展開的には中盤がどうしても落ちてしまうという課題が残ったがインカレまでの課題がはっきりしたので着実に伸ばしていきたい。

土岐 良太 (2 年)

今までやってきたことがやっと結果に出せた。勝って当然といわれるような試合で、満足のいくような漕ぎ、内容では無かったが、それでも勝つことは快感だった。またこれを味わえるように練習していきたいと思う。

決勝 D 組

着順	クルー	1000m
1	名古屋工業大 A	3'33"78
2	南山大	3'41"87
3	大同工業大 OB	3'57"19
4	DNAC . RC	4'02"33

☆全日本大学選手権☆

例年より早めに戸田オリンピックコースでの練習に入り、台風直撃には免れましたが雨に打たれながらも一生懸命練習に励んでまいりました。どのクルーも満足のいく結果とはなりませんでした。精一杯漕ぐことができました。

日程：2005年10月6日(木)～9日(日)

場所：埼玉県 戸田漕艇場

出漕クルー：男子シングルスカル(澤津 貴弘)

男子ダブルスカル(S:下手 貴史 B:西雪 健次郎)

男子舵手付フォア(C:神谷 恭平 S:土岐 良太 3:平 雄二

2:阿葉家 淳 B:石川 敦正)

☆男子シングルスカル☆

(予選) 1杯上がり

着順 クルー

500m

1000m

1500m

2000m

1	名古屋工業大学(澤津)	1'47"37	3'39"58	5'37"00	7'36"70	←準決勝出場
2	茨城大学(陶山)	1'51"34	3'46"87	5'46"69	7'46"22	
3	早稲田大学理工学部(高野)	1'54"11	3'51"01	5'50"76	7'50"34	
4	石巻専修大学(町田)	1'53"20	3'52"92	5'56"67	7'56"97	
5	金沢大学(吉川)	1'58"12	4'00"18	6'02"19	8'05"58	
6	東京経済大学(牧)	1'54"75	4'01"88	6'10"34	8'17"52	

(準決勝)

着順 クルー

500m

1000m

1500m

2000m

1	名古屋工業大学(澤津)	1'48"34	3'39"07	5'34"59	7'29"45	←決勝出場
2	日本大学(藤原)	1'49"36	3'41"32	5'37"62	7'32"89	←順位決定
3	仙台大学(三浦)	1'50"10	3'44"20	5'41"24	7'41"41	
4	九州大学(山内)	1'49"70	3'44"40	3'43"11	7'45"06	
5	早稲田大学理工学部(高野)	1'53"69	3'51"78	5'56"23	7'58"66	

(決勝)

着順 クルー

500m

1000m

1500m

2000m

1	早稲田大学(諏訪)	1'52"48	3'51"14	5'49"98	7'45"46	←優勝
2	名古屋工業大学(澤津)	1'52"60	3'50"68	5'51"74	7'52"05	←準優勝
3	東京医科歯科大学(小林)	1'53"48	3'53"01	5'53"35	7'56"28	←3位入賞
4	立教大学(山本)	1'54"16	3'58"08	6'05"09	8'06"23	←4位入賞

決勝、スタートは少し出遅れるが500mではほとんど横並び、1000mまで進んだところで少し前が出る。しかし、その後が続かず1300m付近で早稲田大学(諏訪)に抜かれ、そのまま2着でゴール。

☆男子ダブルスカル☆

予選 1 杯上がり

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	名古屋工業大学	1'41"65	3'25"21	5'14"41	7'03"66	←準決勝出場
2	東北学院大学	1'44"70	3'30"81	5'21"56	7'11"83	
3	金沢学院大学	1'48"18	3'49"91	5'33"60	7'33"16	
4	東京大学	1'46"50	3'37"15	5'35"21	7'36"82	
5	愛知工業大学	1'56"21	3'56"78	6'01"79	8'06"58	

準決勝

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	早稲田大学	1'40"20	3'23"01	5'11"053	7'00"07	←決勝出場
2	名古屋工業大学	1'41"01	3'26"47	5'14"73	7'02"06	←順位決定戦
3	法政大学	1'42"76	3'28"34	5'20"88	7'12"52	
4	東北学院大学	1'44"73	3'33"12	5'24"23	7'14"19	
5	金沢大学	1'46"11	3'35"81	5'30"25	7'23"50	

順位決定戦

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	慶應大学	1'48"92	3'41'29	5'34"84	7'25"36	←5 位入賞
2	名古屋工業大学	1'47"61	3'40"29	5'37"17	7'34"51	←6 位入賞
3	日本大学	1'52"13	3'48"17	5'46"30	7'42"46	←7 位入賞
4	京都大学	1'51"20	4'48"81	5'49"81	7'48"75	←8 位入賞

(準決勝)

予選で真っ直ぐ進まなかったスタートを修正し、第3クォーターでの落ち幅を減らすことを目標にして挑んだ準決勝。スタートでは曲がることなく 500m 地点で早稲田を1秒差で追う形になった。予選で出せていたコンスタントに入ってからのリズムの良さが出ず第2クォーターでは差を広げられた。第3クォーターで2度足蹴を入れ艇速を少し戻したが差は変わらない。ラストスパートは自分の持てる力を全て出しきり、今までの練習の中でもかなりいい漕ぎができたが、早稲田にあと2秒届かず2着となった。

☆男子舵手付フォア☆

予選 1 杯上がり

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	新潟大学	1'43"83	3'30"38	5'16"88	7'03"12	←準決勝出場
2	東京経済大学	1'43"20	3'31"77	5'21"94	7'07"67	
3	一橋大学	1'47"78	3'39"12	5'30"80	7'22"28	
4	神戸大学	1'48"77	3'39"99	5'31"81	7'22"82	
5	東海大学	1'48"46	3'40"91	5'32"99	7'24"26	
6	名古屋工業大学	1'46"35	3'40"47	5'37"04	7'35"21	

敗復 1 杯上がり

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	岡山大学	1'50"44	3'45"01	5'42"39	7'40"03	←準決勝出場
2	慶應大学	1'50"66	3'46"02	5'43"18	7'40"48	
3	大阪大学	1'52"00	3'48"48	5'47"22	7'47"15	
4	広島大学	1'52"10	3'59"84	5'54"63	7'59"51	
5	名古屋工業大学	1'50"11	3'49"98	5'56"62	8'03"11	
6	岩手大学	1'58"05	4'01"88	6'03"18	8'03"78	

(敗復)

第1クォーターは先頭で通過した。しかし500mをすぎてから徐々に水中が落ち、1000m地点での足蹴ではあがった。しかし、その後が続かなかった。当初の目標としてあげていた準決勝に進むことはできなかった。

クルーの言葉

西雪 健次郎 (大学院1年)

まず今シーズンずっといっしょに乗ってきた下手、お疲れ様でした。お互い身体壊さず、仲間割れもせずよくやってこられたと思う。そして最後まで勝ちを信じてくれていた山内さん、練習を見続け相談も聞いてくれたコーチ陣、迷惑かけっぱなしだった現役のみんな、ダブルを買ってくれ陰ながら支えてくれたOB・OGの方々、応援してくれたみんなに感謝しています。インカレで勝ち、メダルを持ち帰ってお礼をしたかったですが叶いませんでした。でも自分は漕手として満足できました。院でやって良かったと思っています。

これからの現役部員たちの活躍を楽しみにしています。満たされるまで漕いでくれ！！

下手 貴史 (4年)

自分にとって最後の試合になる今年のインカレ。表彰台も狙えるぐらいのダブルに仕上がってると思っていた。結果は6位。2年前と同じ順位だった。しかしレース後の気持ちは2年前とは全然違った。今年是对校がダブルだったこともありOBの方々からの大きな期待を背負って練習してきた。練習は質、量ともどこの大学にも負けない自信が持てるぐらいやってきた。自分にも厳しくやってこられた。そして思ったことはやっぱりボートは楽しい。かなりきついけどそれ以上の魅力がある。

ボートに出会えて本当に良かった。大学に入ってこれだけ一つのことに熱くなれるとは思ってなかった。

入学式の日勧誘してくださった中川さんには本当に感謝しています。入部してから今まで多くの皆様にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。4年間本当にありがとうございました。

天野 賢治 (4 年)

インカレの予選、この試合は直前までフォアに乗って練習ができなかったのと、現役最後の試合ということもあってかなり緊張していた。試合直前のアップでも切り込んでしまったり、スタートが合っていなかった。レースでは、スタートで好位置につけることができこの調子で行ければ一位になれるかもしれないと思った。しかし、500 メートル過ぎくらいから徐々に崩れだし立て直せなかった。練習不足が否めないくやしいレースとなってしまった。

神谷 恭平 (4 年)

今回、最後のインカレであったが、結果を残すことができなかったのは、非常に悔しい。結局、僕自身にはたいした結果が残らなかった。

今回若いクルーだったが、光るモノが見えた。COX として得た経験を生かしコーチとして、自分では届かなかった分を、後輩に託していきたいと思う。

コーチの言葉

小掠 隆広

インカレが終わって印象的だったことが2つある。

1つ目はダブルの成長。山内さんに練習をみてもらったこともあり、全日本選手権からの4ヶ月という短い期間でも成長がはっきりと感じれたこと。

2つ目はフォアが2日目で敗れた後も、「明日も練習する」とやる気に満ち溢れていたこと。

今年のインカレでは全クルーが目標までもう一步というところだったが、来年はダブルの成長から得たことをふまえて、フォアのクルーや1年生のやる気をしっかりと成長、そして結果に繋げたい。

◎◎応援に来て下さった方々(敬省略)◎◎

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S36	D	佐藤弘	S36	E	神谷昌宏(会長)	S48	W	衣斐洋一
S53	M	佐野武雄	S53	A	神谷省次	S57	E	竹下隆晴
H3	Ej	杉森英夫	H10	I	石黒新治	H10	Zk	鈴木秀忠
H10	Sa	原田重信	H14	Sc	中西光昭	H15	Ue	櫻井潤
H15	D	川嶋教孔	H16	M	中島明	H16	M	中島明
H16	Sc	渡辺伸江	H17	Sc	荻須美樹			

◎ 白艇会費・寄付金を下さった方々(敬省略)◎

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S53	A	神谷省次	H3	Ej	杉森英夫	H10	I	石黒新治
H10	Sa	原田重信	H17	Sc	荻須美樹			

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

☆今後のお知らせ☆

中部学生新人戦

日程 : 2005 年 10 月 15 日(土)～16 日(日)

場所 : 愛知県 愛知池

出漕クルー : 男子舵手付フォア
男子ダブルスカル

2 年生にとって今回で 2 度目となる新人戦。今年はインカレにも出漕し、昨年よりどれだけ成長したか。また 1 年生にとっても目標となるの先輩方の下、日々練習に励んでまいりました。

どのクルーにとっても期待のできるレースとなります。

ダブルスカル進水式

日程 : 2005 年 10 月 23 日(日) 11:00 スタート

場所 : 愛知県名古屋市中川区 庄内川艇庫

インカレに間に合うようにと 50 周年事業として OB 会より買っていただいたダブルスカル。まだまだきれいに輝いております。

名大・名工大新人戦

日程 : 2005 年 11 月 19 日(土)

場所 : 愛知県名古屋市中川区 庄内川

出漕クルー : 男子エイト

昨年は部員不足の為、フォアで出漕いたしましたが、今年はエイトを組むことが出来ました。連敗してきておりますので、今年こそはという意気込みで練習に励んで参ります。

ご都合がよろしければ、ぜひ応援にお越しください。

詳しくはメーリングリスト、電話等でご連絡いたします。